

らくよう

楽しく 陽るく 莊全体で
お年寄りの人権を守ります。

その方らしい生活が出来るよう応援します。

最後までお世話させていただく準備が出来ています。

特別養護老人ホーム楽陽荘 令和2年3月号 NO. 319

< 節 分 >

2月3日、「鬼は～そと・福は～うち」と、大きな声と共に鬼めがけて一斉に豆を投げるお年寄り。「いたい！いたい！」と逃げる鬼。お年寄りの楽しそうな笑顔がありました。

今年も健康に気を付けて元気に過ごしたいと思います。



< 生け花ボランティア >

毎月一度、生け花の先生を交え、お年寄りの皆さんと一緒に色とりどりの花や草木を思い思いに活けています。「この色どうだろうか？」「あんたの綺麗やなあ」等、楽しく弾んだ会話がテーブルのあちこちで聞こえてきます。自分の活けた力作はフロアーに持ち帰り満足げに毎日鑑賞しています。



< 水害想定の避難訓練 >

楽陽荘では、毎年火災時（昼間・夜間）と地震による水害想定の避難訓練を行っています。今回は、南海トラフ地震で津波が数時間後に押し寄せてくる。という想定で行いました。職員同士協力しあい、本番さながらでお年寄りの方を2階に救助しました。災害はいつ起こるかわからないので、一人ひとり普段から意識をして、業務にあたりたいと思います。

< 大正琴慰問 >

2月4日、たんぽぽ・ひまわり・あんずの里・パンプキンアンサンブルの4チーム総勢38名の方が大正琴の演奏で、慰問して下さいました。皆さんキラキラした衣装を身にまとい、オープニングでは「みどりのそよ風」と「うれしいひなまつり」を弾いてくださいり、全十曲をお年寄りの皆さんと手拍子をしながら口ずさんだりして、懐かしい歌に喜ばれていました。フィナーレの「ふるさと」の演奏までの間、身体を横にゆらしながら目を閉じて歌の光景を思い浮かべておられる方もいらっしゃいました。ありがとうございました。



< 編集後記 >

全国で新型コロナウイルスの流行が話題になっています。楽陽荘でも、手洗いやマスクの着用はもちろんのこと、室内の換気をこまめにし、お年寄りの体調管理に努めています。また、ご家族の皆様には面会をお控えいただいてご不便をおかけ致していますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

新聞担当：干野・石村な・安藤

